

IV 次の文を読んで、下記の問いに答えよ。

図1 所得分布の例(1)

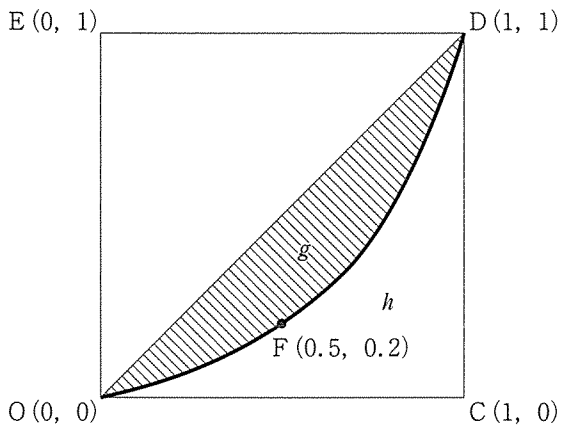


図2 所得分布の例(2)

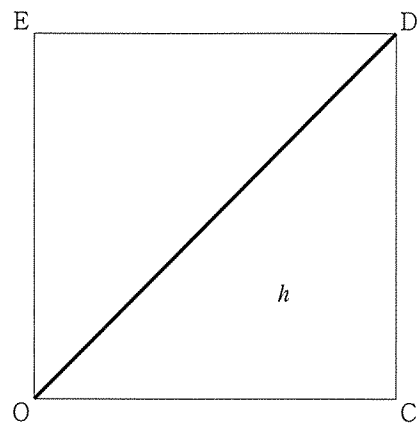


図3 所得分布の例(3)

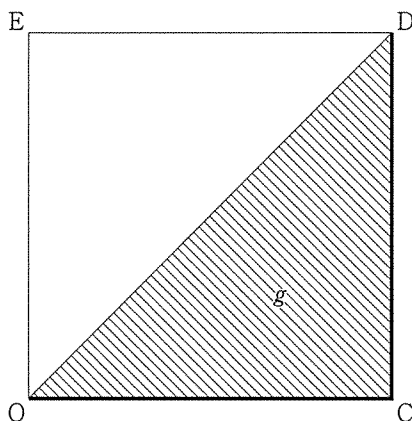
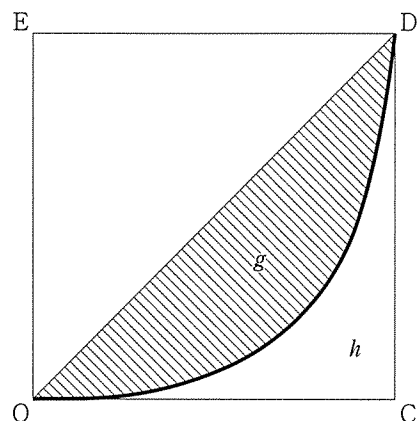


図4 所得分布の例(4)



生産要素の提供者に分配された所得について、その分布の不平等の度合いを、上の図を用いてあらわすことができる。図1から図4の横軸は人数の累計を、縦軸は所得の累計をあらわす。ただし、所得の低い人から高い人へと順に、人数の累計と所得の累計を求めてある。また各累計を元の合計で割って、合計が1になるようにしてある。たとえば図1の点F(0.5, 0.2)の座標は、所得の低い人から順に数えて人口の50%にあたる人々の所得の合計が、全体の所得の合計の20%にあたることをあらわし、曲線OFDは所得分布をあらわす。かりに全員が同じ所得水準であるとすると、人数の累計と所得の累計とは一致するから、それらの関係は図2のような対角線ODであらわされる。他方、所得が完全に1人に集中すると、人数の累計と所得の累計との関係は図3のように折れ線OCDであらわされる。この両極端の間に図1や図4のような場合があり、図3の場合ほどではないが所得分布に不平等がある。各図の斜線を施した部分の面積は所得分布の不平等の度合いを示し、面積が大きいほど不平等の度合いが大きいことを示す。

- 問1 次の空欄 ~ に最も適合する式・数字を下記の数値群から選び、その記号を解答欄に記入せよ。
- (1) 図1や図4の斜線を施した部分の面積(g)と三角形OCDの面積($g+h$)の比によって、所得の不平等の度合いを測ることができる。この比はジニ係数と呼ばれる。この比を h を用いてあらわすと となる。
 - (2) ジニ係数は という範囲の値をとり、全員が同じ所得水準のときは を、所得が1人に集中しているときは をとる。

数値群

ア $1+h$	イ $1-h$	ウ $1+2h$	エ $1-2h$
オ -1 以上 1 以下	カ 0 以上 1 以下	キ -1 以上 0 以下	ク 0 以上 2 以下
ケ 1 以上 2 以下	コ -1	サ 0	シ 1
ス 2			